CS こひつじ科礼拝式次第

2023 年 3 月 12 日　午前 9 時 30 分

２０２３年度年間テーマ：「主イエスの教えに聞き従うものになろう」
テーマ曲：ワワワいっしょに（９２番）
暗唱聖句：「だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。」
マタイによる福音書７章１２節

１１、うれしいあさよ（こどもさんびかをお用いください）

おいのり　礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしょ　マタイによる福音書 7 章 24 節～29 節

「そこで、わたしのこれらの言葉を聞いて行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家を襲っても、倒れなかった。岩を土台としていたからである。わたしのこれらの言葉を聞くだけで行わない者は皆、砂の上に家を建てた愚かな人に似ている。雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家に襲いかかると、倒れて、その倒れ方がひどかった。」イエスがこれらの言葉を語り終えられると、群衆はその教えに非常に驚いた。彼らの律法学者のようにではなく、権威ある者としてお教えになったからである。

おはなしとおいのり　「岩の上に家を建てる」　門脇献一校長

みなさんはおうちをたてているところを見たことがありますか？地面にコンクリートで土台を作って、土台の上に柱を立てて、そうして屋根を作ります。床や壁を作り、ドアや窓を作り、というふうに順番に作っていきますね。できあがったおうちを見たときには、壁や屋根や窓などが見えて、玄関から中に入ると、床やドアや天井やいろんなものが見えます。でも、どんなに立派なうちであっても土台がしっかりしていないと、大変なことになります。大きな地震や台風がやってきたときに分かりますね。

二人の人がいました。ふたりとも家を建てました。建て上がったうちは立派なうちでした。あるとき地震が起こりました。ひどい揺れが二つの家を襲いました。片方の家は揺れに耐えて大丈夫でした。でももう一方の家は家が大きく傾いてもう住めなくなってしまいました。何が違ったのでしょうか。一人の人は硬い岩のある土地に土台を作って、その上に家を建てました。もう一人の人はやわらかい土の上に土台を作って家を建てました。土の上に建てられた家は、液状化した土地のためにひどく傾いてしまいました。でも、岩の上に建てられた家はびくともせず大丈夫でした。これはイエス様がわたしたちにお話になったたとえ話ですが、12 年前の大震災の時に本当に起こったことです。

イエス様は岩の上に家を建てた人を賢い人と呼んでいます。岩の上に家を建てた人は、イエス様の教えをきいてそれを行う人です。砂の上に家を建てた人を愚かな人と呼んでいます。その人は、イエス様の教えを聞いても行わない人です。家は目に見えるその人の行いや生活です。二人の家はどちらも立派な家です。これは、二人とも普段は立派な行いをしているように見える、ということです。でも、困難が起こったとき，それも大変な困難が起こったときに、違いがあらわれるのです。イエス様の教えを土台に生きている人はどんな困難に遭ってもびくともしません。でも、イエス様の教えを土台としてない、別の何かを土台としている人は、困難に遭うとばったりと倒れて全部台無しになってしまいます。

イエス様は、このたとえ話を通して「私の教えを聞いてそのように行いなさい」と言われています。それは、イエス様の教えが神様と一緒に生きるための土台となるからです。それだけではなく、イエス様はわたしたちのために十字架にかかってくださり、わたしたちは神様から罪のない人と見てもらえるようになりました。そして復活したイエス様は、わたしたちがずっと神様といっしょに生きることができるように導いてくださいます。このイエス様の教えに従って毎日の生活をしていきましょう。

祈り
神さま、私たちに救い主イエス様を下さりありがとうございます。イエス様が成し遂げられた救いのみ業を感謝いたします。どうか、毎日このことをおぼえて、感謝してイエス様に従うことが出来ますようにお導きください。

⁂　小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

（けんきん）会堂２階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

５６、歩こうイエスの道を（こどもさんびかをお用いください）